

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公表番号】特表2009-534225(P2009-534225A)

【公表日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-038

【出願番号】特願2009-506660(P2009-506660)

【国際特許分類】

B 3 2 B	27/32	(2006.01)
C 0 8 L	23/04	(2006.01)
C 0 8 L	75/04	(2006.01)
C 0 8 F	210/00	(2006.01)
C 0 8 F	218/08	(2006.01)
C 0 8 F	220/10	(2006.01)
B 3 2 B	27/28	(2006.01)

【F I】

B 3 2 B	27/32	Z
C 0 8 L	23/04	
C 0 8 L	75/04	
C 0 8 F	210/00	
C 0 8 F	218/08	
C 0 8 F	220/10	
B 3 2 B	27/28	1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月16日(2010.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

7 × 10⁸ パスカル未満の弾性率を有する光透過性ポリマー本体層と、
 前記本体層の主表面から突出する複数のキューブコーナ要素と、
 前記本体層の少なくとも一部分に接着して前記キューブコーナ要素と空気の境界面を保
 持した、単層または多層の封止フィルムと、
 を含む柔軟性再帰反射物品であって、
 前記本体層と接触した前記封止フィルムは、少なくとも約50%の量のアルキレンの反
 応生成物と、少なくとも1つの非酸性極性モノマーの反応生成物とを含む熱可塑性ポリマ
 ー材料である、柔軟性再帰反射物品。